

第202回:永遠の0を批判した手合い

小説でも新聞でも稟議書でも、いちばん大事なものは見出しである。内容がいかに優れていようと、ゴミ箱にポイされたらお仕舞いだ。だから新聞社には整理部と云う重要な部署があり、智慧を絞って「ブッチャー感電死」、「ポスト菅はこの馬・鹿・野・郎」なんて大見出しをつけるのである。見出しで大事なものは、シンプル、インパクト、そしてアピール力だ。「第3四半期は7.8%に改善、政策と投資が後押し～通年7.5%成長達成へ、ネックは市民収入の伸び悩み～」こんな冗長な標題が最悪だ。これは事実であってヘッドラインではない。事実関係はこれで正しいので、文中にそう書けばよいだけのことだ。こんなお粗末な見出しをつくるレポーターはアタマが悪いか商売気がないかの何れかに決まっているが、おそらく後者だろう。なぜならば、日本で最も優秀な官僚の作る法律も似たりよったりだからである。たとえば平成21年7月15日に公布された「漂流物に対処する法律」、この正式名称は「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂流物等の処理等の推進に関する法律」だ。論理的破綻がないよう構成され、そのため句読点も打たれていない、実に見事で完璧な表現だが、無機質で、人間性の欠片も感じられぬ凍えそうな法律である。

小説の題名は販売部数に極めて大きな影響を与えると云われている。百田尚樹の「永遠の0」は、原作はベストセラー、映画化も大成功を収めつつあるが、この「永遠の0」と云うシンプルかつ、謎めいた余韻の残る題名が大ヒットの大きな要因のひとつとなっている。むかし三島由紀夫と石原慎太郎が対談したとき、「男は誰のために死ぬるか？」という質問に対する答を各自紙にしたため、二人同時に紙を開いたところ、共に「自己犠牲」と書いてあったそう。原著の主題は自己犠牲の尊さであり、本物の男にとって誇りと責任は生命よりも尊いことがよく分かる力作だ。某国国営テレビは安倍首相の「永遠の0」鑑賞を、「戦争映画の鑑賞」と批判したが、あの手合いに批判される筋合いはない。放送作家でもある百田氏は題名や登場人物の設定の重要性をプロとして十分認識して作品を書き上げている。凄腕の零戦乗りを宮部久蔵と命名したのは、黒澤映画の「七人の侍」に登場する宮口精二扮する寡黙でストイックな剣の達人の「久蔵」をイメージしたに違いないし、最期の標的を空母タイコンデロガとしたのも、最強の敵を相手とする必要性から、世界最強のイージス艦(=タイコンデロガ級巡洋艦)にその艦名が受け継がれている同艦を選んだのだろう。

見出しの話に戻ると、プロパガンダが政権運営の要である中国は日本と違って、法律や指令は実に平易な表現で、具体的事例に沿って熊さん・八つぁんにも理解できるように工夫しているのが特徴だ。習近平が不正腐敗を根絶するために打ち出した「作風改善八項目」には、随員同行、交通規制、揮毫、テープカットと実に細かく戒めが記されている。不正撲滅運動の標語「虎も蠅も叩く」とは、政府高官(虎)も、小役人(蠅)も容赦ないと分かりやすい表現となっている。虎の一匹だった薄熙来事件は去年結審し、彼はいま牢屋に収監されている。一方、薄熙来より貴目も座布団も上だった周永康と云う老虎にも、そろそろキップが出そうで、周家の人々はいま寒い思いをしているようだ。「仁義なき戦い」で菅原文太が「牛の糞にも段々があるんで」と云ったように周永康・薄熙来クラスの人物と、地方政府の小者腐敗官僚とでは格が違うが、習近平は

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

悪人には平等に背番号を貼る考えのようだ。因みに習近平の下で党中央紀律検査委員会主任として不正摘発に辣腕を揮っている王岐山(政治局常務委員)はチャイナ・セブンの序列は第6位に過ぎないが最近の存在感は既に李克強を凌駕しており、王岐山は実質党内ナンバー2と云う見方もあるようだ。

これだけ分かりやすい指令を出す共産党も、権力闘争のさなかにおいて、時に敵を慎重且つ巧妙に追い詰め、炙り出すため意図的に対象を暈しつつ追放キャンペーンを張ることがある。例えば昨年まで周永康が実権を握っていた公安・司法・武装警察を司る政法委員会の全国会議「中央政法工作会議」が先週北京で開催され、異例づくめに終始したその式次第が内外の注目を集めている。先ず会議が周永康時代の「全国会議」から「中央会議」に昇格されたこと、これまで政法委の書記が主催してきた会議に習近平国家主席が乗り込んできたこと、そして習近平が「断固たる意思と行動で、腐敗現象を取り除き、集団に害を及ぼす者は断固排除せねばならない」と宣言したことである。「集団に害を及ぼす者」は明らかに誰かを差しており、何となく見当はつくが、敢えて暈した韜晦の術が用いられている。

公式報道によると、中央会議では習近平発言に続き、孟建柱政法委書記(政治局委員)が習近平総書記の発言の主旨に従って行動するよう弁じ、更に郭声琨公安部長が発言したと云う。ここまではよくある行事の典型だが、公式報道では更に公安部の副部長や局長クラスの15名が、各人主語を「習近平総書記」、「習総書記」、「総書記」と微妙に変えつつ「総書記の重要講話は、科学的弁証法に基づく歴史的発言であり、これを断固擁護して、断乎たる行動でもってその主旨を貫徹しよう！」といった金太郎飴のような発言を繰り返している。過去に共産党が林彪事件や天安門事件等で分裂の危機に見舞われたとき、地方政府の行政官や、集団軍のトップが「われわれは断乎毛沢東主席を中核とする党中央を擁護する」と我先に忠誠を誓った故事を思い出した。先週の中央政法工作会議は習近平が周永康の牙城を征服したことを満天下に宣言する儀式であったようだ。

因みに公安部のトップのなかで発言機会がなかったのは、昨年末に紀検委が「重大な規律法律違反」で調査中であると発表した李東生副部長(次官)だけであった。彼の身柄拘束が公表されたとき、当局が彼の担当をわざわざ「邪教取締りの責任者」と公表したのも不可解だ。普通は隠すところを、敢えて公開したのにも何か理由があるはずだ。中国が邪教と認定している組織は法輪功(気功集団)、全能神(キリスト教系)等、いろいろあるが、歴史的に見ると、ときの政権と宗教団体との闘争が、国を滅ぼすきっかけとなった事例が極めて多く、当局は最大の危機感をもって彼らと対峙しているようだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年1月14日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。